

ニューフェイス紹介

2023年7月1日～2023年9月30日

- ①趣味
 - ②病院の印象
 - ③自己PR
- ※部署別に掲載



病棟 介護福祉士
岡林 梓
おかばやし あずさ

①音楽鑑賞・舞台観劇
②病院内が明るく清潔感があり、職員の方にも丁寧に対応して頂き好印象を持ちました。
③患者さんに安心して頂けるように1日でも早く仕事を覚え、戦力になれるよう頑張ります。



車輦 運転手
久保 幸久
くぼ ゆきひさ

①ウォーキング、車
②病院の外や中も清潔感があり、職員さんも感じがよくて好印象です。
③明るく前向きな性格で周りの状況に配慮しながら行動し、時間も約10分前には到着します。



病棟 看護師
小笠原 美明
おがさわら みあき

①ヨガ
②清潔感のある病院だと思いました。
③精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひします。



臨床工学部 臨床工学技士
加志崎 由衣
かしさき ゆい

①よさこい、テレビ鑑賞
②何十年か前に実習でお世話になった時と変わらず綺麗で清潔感のある病院だと思いました
③透析から離れて2年ですが、早く働を取り戻し透析患者さんの為に頑張りたいです。



室戸クリニック 運転手
中屋 辰雄
なかや たつお

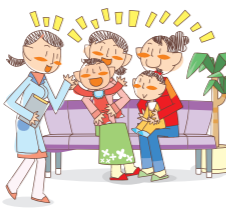
①花挿し木、盆栽、ツーリング
②外観より院内が広く感じました。患者さんも多いと思いました。
③大切な患者さんの送迎を安全運転で努めて参りたいです。よろしくお願ひいたします。



ご結婚おめでとう

透析室
隅田 早希(すみださき)さん
臨床工学部
隅田 晟也(すみだせいや)さん
旧姓/山本(やまもと)
2023年8月4日入籍
病棟
西内 ひかる(にしうち ひかる)さん
2023年8月10日入籍

ご出産おめでとう



栄養部
利岡 理奈(としおかりな)
2023年2月25日生まれ
航(こう)くん



透析室
藤村 舞(ふじむらまい)
2023年6月5日生まれ
壮琉(たける)くん

[尚腎会 2023年8月の診療実績]

●外来患者数/3,317人 ●紹介患者率/15.2% ●新入院患者数/93人 ●退院患者数/97人 ●平均在院日数/15.5日 ●病床利用率/65.3%

クラブ活動報告 大会成績

ゴルフ部

【第48回 TEAMさずな杯】

■日時/2023年7月8日(土)
■場所/Kochi黒潮カントリークラブ
(太平洋・暖流コース)

- 優勝 高木 寿隆(ゲスト)
準優勝 湯浅 仁(ゲスト)
3位 福富 敬(外科部長)
4位 上杉 和孝(ゲスト)
5位 堀川 健太(管理部)



野球部

病院野球リーグ【2試合目】

■日時/2023年7月23日(日)
高須病院ダイアライザー vs いずみの病院

	1	2	3	4	5	計
高須病院DLZ	0	0	0	0	0	0
いずみの病院	0	0	1	7	×	8

夜さこい野球大会【1部 2回戦】

■日時/2023年7月23日(日)
高須病院ダイアライザー vs 西川呉服店

	1	2	3	4	5	計
高須病院DLZ	0	0	0	2	0	2
西川呉服店	0	0	5	5	×	10

夜さこい野球大会【壮年の部 準々決勝】

■日時/2023年9月3日(日)
高須病院ダイアライザー vs 竹村会ベースボールクラブ

	1	2	3	4	5	計
高須病院DLZ	0	2	0	0	0	2
竹村会ベースボールクラブ	2	1	2	3	1	9



夜さこい野球大会 壮年の部メンバー

ふれあい

高知高須病院 院内誌

2023
vol.109

特集 南海トラフ 大地震に備えて



- インタビュー
松林さんに聞いてみました
- 地連ケアマネ勉強会
- 糖尿病教室を開催しました
- 人生いろいろすずなりリレー
- 「分院」だより
- 「はるか」だより
- 主要手術・検査実績
- おすすめエッセイ
- ニューフェイス紹介
- クラブ活動報告

ご結婚・ご出産おめでとう



特集 南海トラフ大地震に備えて

～一人でも多くの命を救うために～

最大限の医療救護活動ができるよう 普段から備えを



当院では10月におこなわれる災害医療救護訓練に向けて、院内でトリアージの研修をしています。講師は泌尿器科の湊淳先生です。

手術室 左織 (はたけなかさおり)

前回のトリアージ訓練は2019年9月に実施しました。その後はコロナの影響で中止になり約4年ぶりの研修となります。

看護師、医師事務作業補助者、検査技師、理学療法士、作業療法士、医事、事務職、社会福祉士など様々な職種が集まり、6月から8月まで計7回おこないました。参加者は81人です。

トリアージの種類には一次トリアージのSTART法(Simple Triage and Rapid Treatment)、と二次トリアージのPAT法があります。

一次トリアージは二人一組となり、30秒以内で呼吸、脈拍、意識の評価、二次トリアージはさらに細かく、頭部、頸部、胸部、腹部、骨盤、四肢の評価をおこなっていきます。

今回はトリアージタグと一次トリアージSTART法の研修をしました。トリアージタグの使い方、記入方法、装着部位、4種類の意味を教えて頂き、次に一次トリアージSTART法の講義を受けました。

ここでは重要ポイントを把握しておきます。そのポイントとは、「歩けるか?」「呼吸は普通か?」「脈



は普通か?」「意識はあるか?」の4つです。歩けるとは自分で歩けること、呼吸は回数が10～29回、脈拍は早すぎても遅くても異常です。意識は呼び掛けに対して反応があるか、になります。

一次トリアージの練習問題をクイズ形式でおこないました。4つのポイントを押さえて、トリアージしながら答えていきます。受講した職員はこれらのポイントを把握していて、正解回答が多かったですが、同時に短時間でトリアージを行い判断することの難しさも感じていました。講義の基本的な知識に加えて、柔軟な発想といつでも実践できるという普段からの備えが大切だと思います。

今回は時間の関係で二次トリアージは湊先生の実践を見学しました。「一回では覚えきれない」「実践できない」と思い、後日自部署で二次トリアージの訓練をおこないました。

このような訓練を積み重ねることで、職員一人ひとりの災害への意識を高め、災害発生時には最大限の医療救護活動ができるよう準備していきたいです。

INTERVIEW

松林さんに 聞いてみました



臨床工学技士とスプリンターの二足のわらじを履く松林玲佳さん。今年6月には大阪で開催された日本陸上競技選手権大会において、女子200mで23秒93をマークし、6位入賞を果たしました。自身が持つ県記録を更新するという素晴らしい成績です。

そんな松林さんの素顔に迫ってみました。



今年10月に開催された「かごしま国体」では、女子300mで7位入賞を果たしました。

現在、陸上で目標にしているところは?

2年後の東京世界陸上に出場したいです。

速く走るコツを教えてください

自分に合った走りを見つけ出すことです。

目標達成にむけて普段から心掛けていることやルーティーン的なことは?

心掛けている事は陸上競技を楽しむことです。ルーティーンは試合前にお母さんの作ったとんかつを食べる事です。

松林さんのリラックス方法は?

岩盤浴です。試合の2日前と試合の翌日に行くことが多いです。緊張している状態はアドレナリンが出ていると思うので、普段以上の力を発揮できると思ってわくわくします。緊張で走れなかったことはないですね。

仕事と練習の調整はどうしてる?

コーチに練習調整の管理をしていただいています。1ヶ月の練習スケジュールは私の勤務表とコーチの勤務日程を合わせてコーチが組んでくれています。コーチが仕事の日は、練習は休みです。私が日勤の日は夕方練習、夜勤の日は午前練習。1年を通して試合日程、練習の強度も含め全て大まかなスケジュールはコーチの頭の中にあります。

好きな芸能人は?

特にいません。好きな陸上選手だったら日本記録保持者の福島千里選手です。



昔やっていたスポーツは?

スイミングを12歳までやっていました。短距離以外の陸上競技は走幅跳をやったことがありますが、私が飛ぶとみんなが爆笑するので引退しました。

オンライン地域医療勉強会 開催

～ 糖尿病患者さんなどをテーマに講演 ～

地域医療連携室 MSW 氏次 飛鳥 (うじつぐ あすか)

2023年9月8日(金)に第5回「在宅サービス関係者のための地域医療勉強会」を開催しました。

ZOOMによるオンライン開催も3回目となり、皆さまにも定着してきたのではないかと思います。

今回は32事業所、66人の参加があり、吉本幸生先生から「薬物療法中の糖尿病患者の注意点」、鈴木千栄子管理栄養士から「糖尿病食と透析食どう違う?」のテーマで講演を行いました。

ケアマネージャーとして関わる事の多い糖尿病患者さんと治療食がテーマであり、事前質問を複数頂戴した事からも、参加者の方々の関心の高さが伺えました。



開催後のアンケートの結果は概ね好評でした。次回開催に向け、アンケートで頂いた内容をもとに準備を進めていきますので、次回も多くのご参加を心よりお待ちしております。

日頃から地域医療にご尽力頂いている在宅サービス関係者の皆さま、これからもよろしくお願い致します。

人生いろいろすずなりリレー

小野 琴未 さんから →
外来看護師 山下 可乃子 (やましたかのこ) さん

世界へ羽ばたけ! けん玉少年!

皆さんはけん玉を知っていますか?一度は手にしたことがある方も多いと思います。

「昔遊び」というイメージが強いけん玉ですが、実は今やけん玉は世界が熱狂するストリートスポーツになりつつあり、音楽に合わせて軽快なダンスステップを踏みながら大技を繰り出すのがブームとなっています。

カッコいいだけでなく、体幹や集中力も身に付くなど、けん玉の魅力は果てしなないです。

そんなけん玉に我が家の息子もハマり、4年



皆さんもけん玉
始めませんか!!

興味を持たれた方は
外来山下まで
声をかけてください。

ない…!?

が経ちます。教室にも通うようになり、けん玉歴2年の頃、世界大会に出場して世界ランク第282位、7～9歳の部で10位を獲得することができました。

ブームとはいえ競技人口がまだまだ多くないけん玉に少しでも興味がある方、ぜひ、けん玉教室にお越しください♪なんと無料です!!

子どもから大人まで、男女問わず楽しむことができるアットホームな教室です(^^)/ハワイアンカフェも併設しているので、けん玉をしながらゆったりするのOK!

紅白歌合戦の放送中に挑戦しているけん玉ギネス記録更新に出場も夢じゃ

糖尿病教室を開催しました

～ 3年ぶり!「初めてだらけ」の教室 ～

外来看護師 塩田 廣子 (しおたひろこ)

「やあ、みなさんこんにちは!」

末廣正先生のにこやかな顔と一声で、2023年7月8日(土)、高知高須病院5階会議室において3年ぶりとなる糖尿病教室を開催し、患者さんとそのご家族20人が参加されました。

まず末廣先生より「糖尿病とBMI(体格指標)」についての講義があり、BMIの計算方法についてレクチャーを受け、実際に計算している患者さんもいらっしゃいました。

次に田中聖子薬剤師より「シックデイ(病気になった時)」の際の薬の調整の話があり、個々に対応が異なるため、まずは病院へ連絡するよう説明がありました。

講義後は、希望者の個人相談があり、患者さんと医師・コメディカル間での和やかな会話ののち、閉会しました。「教室に来て頂く患者さんが安全に参加できるためには、どうおこなったら

いか」、感染対策下での教室開催をチームメンバーでいろいろ考え、着席位置の把握や、今までおこなっていたラジオ体操は、患者同士の接触の可能性を考慮し中止にするなど、「初めてだらけ」の教室でした。

新型コロナウイルス制限解除の風が吹きつつある世の中、遠慮なく参加者全員で「ラジオ体操第一、よお〜い♪」と出来るようになってほしいですね。



分院 だより

両国国技館へ再び

安芸透析室 主任 大中 直美 (おおなか なおみ)

私には中学3年生の息子がいます。生まれた時から体格が良かったこともあり、小学4年生から相撲クラブに所属して相撲をしています。

過去には県出身力士の豊ノ島関チームとして白鷗杯にも出場したこともあります。コロナ禍以降は大会自体が無かったり、感染で出場を断念したりと悔しい思いもしました。

今年、両国国技館で開催される全国大会の出場が決まりました。同大会へは昨年も出場をしましたが大阪と東京の交互開催のために両国国技館で行われる大会への参加はコロナ禍直前(2020年)の白鷗杯以来となります。

さて、勝負事のゲン担ぎでトンカツを食べるのは一般的ですが、相撲の世界では手をつくると負ける事から豚や牛は四つ足で手をつけているとされ、2本足の鳥を好み、チキンカツを食べることが多いです。なので、今回はチキンカツサンドにしました。



左上が息子です

この大会は参加選手が相撲部屋に宿泊します。高安関が所属する田子ノ浦部屋で、ちゃんこメニューはごま坦々風だったそうです。

強豪選手の多い中、チキンカツサンドの効果なのか(笑)団体戦ベスト16と健闘してくれました。中学最後の年に両国国技館で再び相撲が出来たことがよかったです。

最後になりましたが出場するにあたり奉加帳という形で多くの方にご協力頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

はるか
だより

「凄い!これあんたらが準備したが?」
～ 盛大に開催した「はるか祭り」～

はるか介護福祉士
谷川 美穂
(たにがわ みほ)

7月の月行事は、はるか祭りを開催しました。数年ぶりに開催するお祭りに、入居者さんも楽しみにしてくれている様子でした。

お祭りの雰囲気を感じていただけるように、屋台風に的当てや魚・金魚釣りのゲームコーナー、かき氷やスイカの飲食コーナーをご用意しました。

入居者さんから「凄い!これあんたらが準備したが?」と驚きの声をいただき、嬉しくなりました。入居者さんには事前に券をお配りし、各自好きなお店を回っていただきました。

釣り、ゲームでは、元漁師の入居者さんが、大量

に魚を釣り上げてくれました。的当てでは「これは難しいね」と話しながらも、何度も挑戦してくれる入居者さんがいらっしゃいました。

スイカとかき氷は「甘いね」、「冷たくて美味しいね」とご感想をいただきました。

最後は皆でよさこいを踊りました。「初めて踊った」と話しながら、笑顔で踊る入居者さんが、とても印象的でした。

短い時間でしたが、入居者さんの楽しそうな表情をたくさん見る事ができ、来年はもっと盛大にやりたいなと思いました。



■ 主要手術・検査実績 (2023年3月～2023年8月)

手術術式	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
ダビンチ前立腺摘除術	1	2	3	5	5	4	20
ダビンチ腎部分切除術	0	0	1	0	0	1	2
経尿道的尿管碎石術 (TUL)	19	14	14	11	15	9	82
体外衝撃波結石破碎術 (ESWL)	4	3	2	3	3	5	20
膀胱碎石術	1	1	2	0	5	2	11
ホルミウムレーザー前立腺核出術	9	8	6	7	7	3	40
経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TUR-BT)	9	4	9	6	7	3	38
経直腸的前立腺生検	15	17	14	17	16	8	87
環状切除術	0	1	0	1	1	1	4
内シャント形成術	5	11	14	7	4	7	48
経皮的血管形成術 (PTA)	45	31	58	51	54	54	293

01 すすめエッセイ

家庭菜園の
すすめ



高知医療センター・高知高須病院 名誉院長
堀見 忠司 (ほりみ ただし)



私が高知医療センターを退職後に取り組んだのは家庭菜園でした。幸い私には「らんまん」の佐川に先祖代々の土地と実家があり、その中の約200坪を、家庭菜園に充てました。しかし私は、今でも外来診療と諸種の公務に時間を割いていますし、また現住所から佐川の畑まで車で45分かかりますので、毎日見廻りができません。そこで週に3～4回訪ねて、数時間を過ごし、時には古民家の生家で宿泊し、今までにない新しい時間を楽しんでいます。

実際10年程前に土地を家庭菜園用に整地し、種々な菜園用の道具を揃えました。鍬、鎌、スコップなどの資材は先祖伝来のものを譲り受けましたが、時間の経過と共に、大きな草刈機、耕運機、更には軽トラなども購入し、さらにそれらを管理する物置小屋までも自力で造ってしまいました。そして作物は、通常の野菜は勿論のこと、次々に新種や珍種に挑戦しました。不思議なもので、こんなことをしていると家庭菜園の先輩格の友人達が、「この種を蒔いてみたら」とか「この苗を植えてごらん」などと次々に私を誘惑してくれました。

しかし、この10年間の家庭菜園は見事に失敗の繰り返しでした。1本の大根に大金をつぎ込み、換算すると3000円以上になっていると皆によく笑われました。ところが失敗を繰り返していると、どこからともなく友人達が出現し、色々なアドバイスをくれるのです。ほんの少しずつ豊作を得るようになり、やっと妻や子供たちに溜飲を下げるようになりました。

対象作物は、キュウリ、トマト、ナス、ゴーヤ、スイカ、タマネギ、ジャガイモ、ダイコン、ニンジン、ネギ、ホウレンソウ、小松菜、レタス、メロン、カボチャ、ショウガ、サトイモ、サツマイモ、落花生、枝豆、ソラマメ、えんどう、インゲンマメ、唐辛子、シシトウ、ピーマン、パプリカ、トウモロコシ等ですが、徐々に菜園家らしくなり、最近では、心底、家庭菜園を楽しむ毎日です。

